

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 4 石室	古墳の内部にある、遺体をほうむるための部屋を石室といいます。この部屋には、鏡や剣、勾玉なども一緒に納められました。
問2	答え 2 平等院鳳凰堂	藤原頼通が京都府宇治市に建てた、極楽浄土の教えに基づく阿弥陀堂を平等院鳳凰堂といいます。
問3	答え 3 湿気	高床倉庫は、収穫した米を湿気などから守るために、床を高くしてつくられました。
問4	答え 2 蘇我氏	聖徳太子は、当時の有力な豪族であった蘇我氏と協力して、新しい国づくりを進めました。
問5	答え 3 日本で最も古いとされる和歌集であること	万葉集は、奈良時代につくられた日本最古の和歌集として知られています。
問6	答え 3 須恵器	のぼりがまという新しい製法でつくられた、薄くてじょうぶな土器を須恵器といいます。
問7	答え 1 頼通	藤原道長は、子の頼通とともに藤原氏の最も栄えた時代を築きました。
問8	答え 4 万葉集	万葉集は、奈良時代につくられた日本最古（最も古い）の和歌集です。
問9	答え 4 食べ物を煮たり、たくわえたりするため	縄文土器は、食べ物を煮る（煮炊きする）ことや、食物をたくわえておくために使われました。
問10	答え 1 打製石器	石を打ちかいてつくった石器を打製石器と呼び、旧石器時代に使われていました。
問11	答え 4 石包丁	稲の穂を茎から切り取って収穫するための道具です。稲の穂を傷つけないように、平らな石に穴を開けてひもを通し、指にはさんで使われていました。他の選択肢の斧は木を切ったり土を掘ったりする道具、石鏃は矢じりとして使われていました。
問12	答え 4 亡くなった人の権力を示すため	古墳に納められた武器や道具は「副葬品」と呼ばれます。これらは、亡くなった人が生前どれほど力を持っていたかや、どのような役割を担っていたかを示すために、豪華なものを選びられました。あくまで有力者の権威をあらわすためのものです。
問13	答え 4 聖徳太子	推古天皇の摂政として、蘇我氏と協力しながら天皇中心の国づくりを目指した人物は聖徳太子です。
問14	答え 1 関白	天皇が成長したあとに、天皇を補佐して政治の実権をにぎる役職を関白といいます。
問15	答え 1 豊作を祈るため	銅鐸や銅ほこなどの青銅器は、豊作を祈るための祭りなどで使われたと考えられています。
問16	答え 4 国家としての歴史や伝統を整えるため	大和政権が国として安定してくる中で、自分たちの国の成り立ちや歴史を公式な記録としてまとめることが、国を治める上で必要だったからです。そのため、古事記や日本書紀が作られました。邪馬台国よりも後の時代に作られた歴史書です。
問17	答え 4 国分寺	聖武天皇が全国に建てるよう命じたのは国分寺です。東大寺は国分寺の総本山として特別な役割を持っていましたが、国分寺という名称自体は、全国各地に建てられた寺院を指す言葉です。
問18	答え 1 弥生土器	弥生時代に使われるようになった、縄文土器よりも薄くて硬い土器を弥生土器といいます。
問19	答え 1 国風文化	藤原氏が栄えたころに都の貴族を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化を国風文化といいます。